

学校体育功労者賞を受賞して

上天草市立阿村中学校 校長 川﨑 卓

平成28年度熊本県中学校体育功労賞を受賞させていただくことになり、まずは関係者の皆様にお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。これまでの教職生活36年間の内、小学校勤務が19年、中学校勤務が17年と中学校体育にどれだけ貢献できたのかと思うと私が受賞させていただいていいのかと大変恐縮しております。ただ、いろんな方々の支えがあってこの賞をいただくことができたのだと感謝しているところです。

私は高校を卒業するまで教師になることは考えていませんでした。大学を受験する際、視力の影響で 目指していた仕事に従事することが難しいと分かった時、中学校から高校まで続けてきた陸上をもう少 し続けたい、自分が走らなくなった後も陸上競技と関わりたいという思いから体育教師の道へ進もうと 決め教育学部の体育科を受験しました。

大学卒業後、熊本県の採用試験を小学校志望で受け、初任は八代市の小学校に赴任しました。毎日の授業に追われる中、2年目には、その大規模校の体育主任を仰せつかり、前任の先生に指導を仰ぎながら悩みながら主任の仕事をさせていただいたことを思い出します。体育大会等の運営を通して組織として物事を動かすことをしっかりと学ばせていただきました。長い教職生活の礎になった3年間でした。

中学校へ移ったのは教職8年目の時でした。そこから12年間3校の中学校で教諭として勤めました。 朝早くから夜遅くまで、体育の指導と部活動の指導に明け暮れました。部活動では、目の前の子どもた ちに何とか良い成績を取らせたいと必死でした。ただ、それが自分よがりの部活動運営にもつながって いました。「私たちは先生のロボットではない。」中体連部会大会で敗退した後、ある生徒の書いた作文 に愕然としました。生徒の主体性や気持ちを無視した練習を強いてきたことを強く反省させられました。 私の部活動指導のターニングポイントとなりました。

また、中学校の教諭時代の12年間は、天草郡市の中体連・中体研の役員として仕事をさせていただいた時期でもあります。県の駅伝大会が天草で開催され、大会運営等関わらせていただきました。県中体研研究発表大会(天草大会)へも研究理事として従事させていただきました。研究理事としての力不足で天草の先生方に多大なご迷惑をおかけしたと今でも反省するばかりです。

管理職となり16年間、中体研・中体連で学ばせていただいたことが学校を運営していく上での基礎になっていると感じます。自主性・創意工夫・組織としての対応等々多くの考え方が生かされています。 管理職として先生方が働きやすい環境、生徒が安心して生活できる環境、環境を整えることを柱に教頭職・校長職に従事してきました。

退職まであと1年、教職に就きたいと思ったときの原点に立ち返り、一教師としてその思いを全うしたいという思いが強くなってきました。伸びよう・成長しようとする子どもたちと共にありたい。そういう思いから、早朝よりグラウンドに立ち、各部活動顧問と一緒に生徒のトレーニングを手伝っています。あとしばらく体育教師でいられることに幸せを感じています。

最後に、教職生活終盤に天草郡市中体連・中体研会長及び熊本県中体連・中体研副会長という名誉ある職を仰せつかり、さらに多くのことを学ぶ機会を得ました。そして多くの人との縁ができました。このことも私の生涯の財産となりました。微力ながら熊本県中学校体育研究会並びに熊本県中学校体育連盟の充実と発展のためにいましばらく尽力して参りたいと思います。あとしばらくお世話になります。そして、よろしくお願いします。